

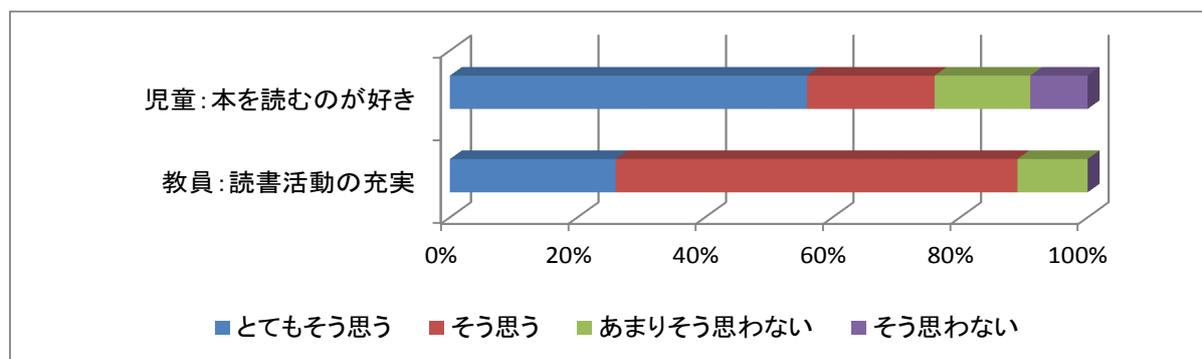
## 25年度 学校評価のまとめ

### 読書活動

今年度も朝読書を実施しました。落ち着いて一日をスタートできるようになりました。また図書委員会の児童が金曜日に1年生から4年生に読み聞かせを行うなど、子供たちの中からも本に親しむ活動が行われました。しかし読む本がわからない、同じシリーズを繰り返し読んでいる等で読書が進まない子供もいました。

今年度学校図書館支援員として、図書室に司書の方が配置されました。本の配置を工夫したり、読み聞かせをしたり、読書週間等にクイズやスタンプラリーを催したりして、子供たちが本に親しむ機会を作ってくれました。学校アンケートには「子供たちが積極的に本を読むようになった」「読書に力を入れているのはありがたい」という保護者の皆様からの意見もありました。

今後も学級文庫を充実させる、読ませたい本のリストを作成するなど、読書に力を入れていきます。



### ふれあい班活動

昨年度の学校評価「上級生が下級生の手本となる姿を示し、それにならって下級生が行動できる場面を増やしていく」を受け、今年度はふれあい班など縦割りや異学年での活動を多く取り入れました。特に金曜日の中休みに「ふれあいタイム」を設定し、6年生が中心となり、遊びを考えて活動しました。「子供自身が創る学校」「子供が手本となる学校」をめざし、ふれあい班の活動は来年度も継続して行っていきます。

### 豊かな心の育成(挨拶・言葉遣い)

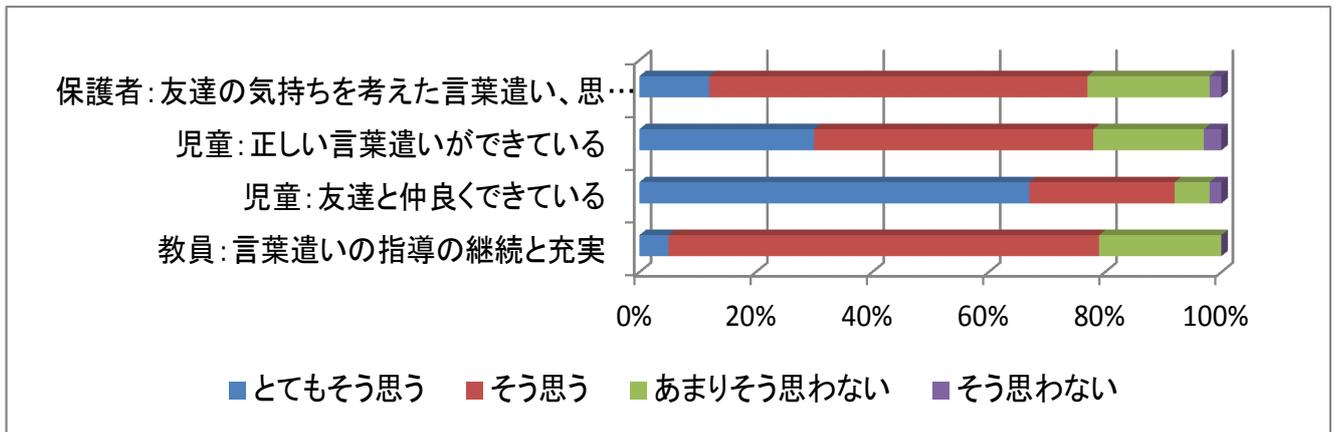
相手の気持ちを思いやる子、正しい言葉遣いができる子を育てるために、今年度も「言葉遣い」「挨拶」は、様々な場面で取り組んできました。保護者アンケートで「友達の気持ちを考えた言葉遣い、思いやり等ができる」の質問に「とてもそう思う。そう思う。」が76%、児童へのアンケートで「正しい言葉遣いができている」の質問に「とてもそう思う。そう思う。」が78%、教員へのアンケートで「言葉遣いの指導の継続と充実」に対して「とてもそう思う。そう思う。」が78%の結果となりましたが「子供たちの言葉遣いが悪い」という内容の意見が多くありました。今後も取り組まなくてはならない課題です。

挨拶については、保護者の意見や教員の反省の中に、自分から進んで挨拶する子が増えて

きたという意見があり、以前よりよくなってきていると思われます。今後は廊下や階段、また来校された方に挨拶するなど、さらに挨拶できる子に伸ばしていきたいです。

言葉遣いについては保護者の方から「人に対していやな言葉遣いをしている」という意見が複数ありました。学校では、友達に対して「くん」「さん」を付けるようにし、また不適切な言葉を使っていたらそれを見逃さずに指導をし、よい話し方を教えて示していきます。

言葉遣いを改めることは、学校だけではできません。保護者の皆様にもご協力いただきながら、進めていきたいと思ひます。

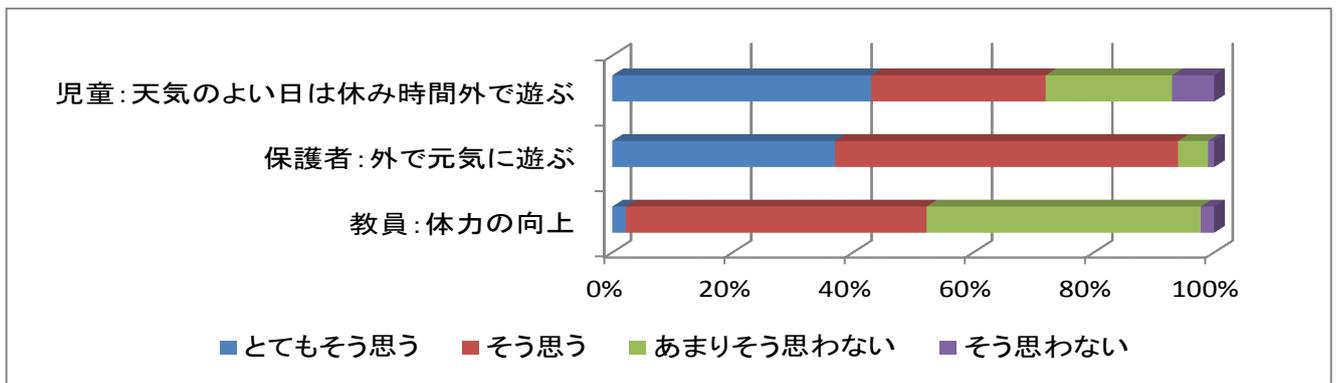


## 体力づくり

「外で元気に遊ぶ」という質問に「とてもそう思う。そう思う。」と答えた保護者は95%でした。児童の「天気の良い日は休み時間外で遊ぶ」は72%でした。

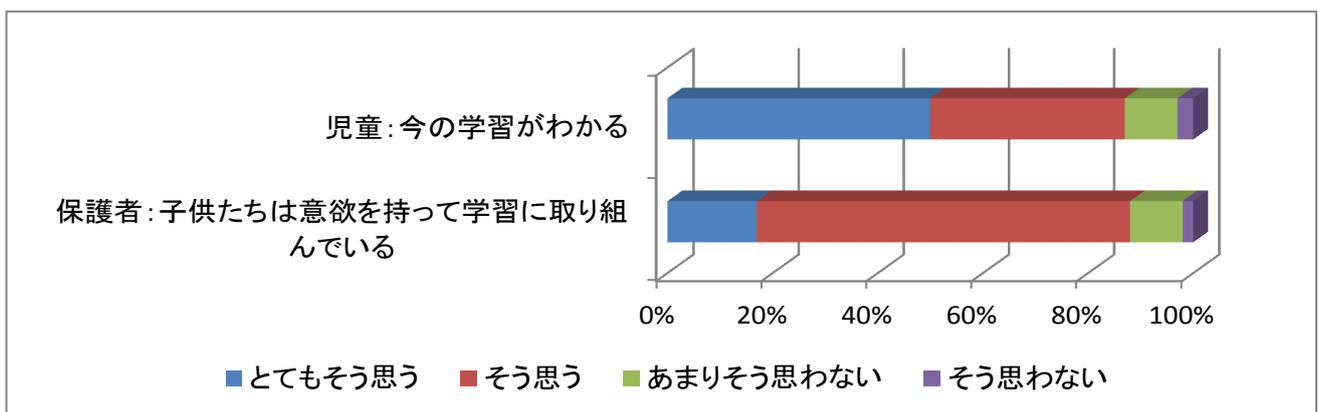
教員の意見では、体力の向上が一番の課題となりました。体力テストの結果を見ても、本校は、全体的に長座体前屈や握力、ソフトボール投げの結果が低くなっています。休み時間に外に出て遊ぶ児童は多いのですが、教室に留まっている児童も少なくありません。今年度はふれあい班活動で全員が校庭に出て遊ぶ姿が見られました。今後も体力向上に向け、これまで取り組んできた「なわとび週間」の実施や「持久走大会」に向けての取組の他、体育の授業で固定施設を活用した運動、体ほぐしの運動等を積極的に取り入れていきます。

また体を動かす元になる体作りのためには睡眠や栄養が欠かせません。「早起き・早寝・朝ご飯」の習慣づくりにご家庭でも取り組んでほしいと思ひます。



## 学力向上に向けて

「子供たちは意欲を持って学習に取り組んでいる」という質問に「とてもそう思う。そう思う。」と答えた保護者は88%でした。「今の学習がわかる」という質問に「とてもそう思う。そう思う。」と答えた児童は87%でした。また同じ質問を学年別に見てもほぼ、同じような結果でした。授業は一斉授業が中心ですが、一人一人がじっくり問題に取り組む時間を確保し、少人数指導を生かした授業を行うなど、学力向上を図るために今後も工夫して取り組んでいきます。

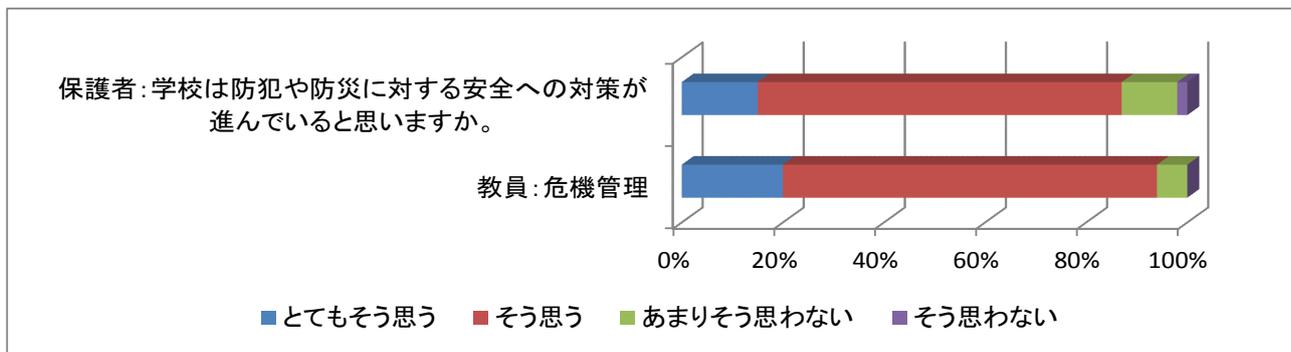


## 防犯・防災

今年度、練馬区学校連絡メールが9月より導入されました。保護者の方から「連絡網ではつながりにくいので、導入されてよかった」「不審者情報等、連絡メールを有効に使ってほしい」という意見がありました。多くの方に登録していただいているので、急を要する連絡については、連絡メールを活用していきたいと考えています。

防犯については、「通ったら門を閉める」「東と西の昇降口の扉を閉める」「校内で会った方に声をかける」等を行ってきました。今後もPTAのパトロールや学校安全安心ボランティアの協力を得ながら、防犯に努めていきます。また全校朝会での講話や学級での指導の中で「自分の命は自分で守る」ためにどうすればいいのかについて、繰り返し話していきます。

防災については、来年度は毎月行っている避難訓練の内容を見直し、より様々な場面を想定した訓練を実施します。また本校の防災委員会の方とも連携し、保護者や児童に防災訓練の参加を呼びかけていきます。



## 学校評議員の方から

学校評価について、学校評議員会を開き、委員の方からご意見をいただきました。

### ○体力作りについて……

冬季休業終了前の3日間で実施した「冬休みチャレンジカード」の取組で、運動をする様子が見られた、という意見をいただきました。カードなど何かきっかけや目標があると運動にも取り組むようなので、冬休み中もやってほしい、という意見がありました。

体力づくりは来年度の課題として、全校で工夫し取り組んでいきます。

### ○防犯について……

年末から全国で子供の行方不明事件が続いていることが話題にあがりました。できるだけ複数で行動することを学校でも指導していきます。また PTA から配られる安全安心マップを活用し、近道でも危ない通りは通らず回っていくなど、日頃から心がけて行くことも大切だという意見をいただきました。

また今年度は「門を開けたら閉める」を児童に話をしたところ、自分たちから進んで閉める様子が多く見られました。門が閉まっていることは、防犯への抑止力になります。今後も続けていきます。

### ○防災について……

1月に実施した防災訓練では、多くの子供たちの参加があり、よかったという意見をいただきました。実際に体験することでいざという時に役に立ちます。小学校から自分たちでできることを繰り返し体験させていきたいと思えます。

### ○豊かな心の育成について……

挨拶はよくなってきた、という評価をいただきました。しかし、言葉遣いについては、課題があるという意見がありました。保護者からもまた教員からも同じような意見があります。来年度に向けて学校だけでなく、保護者や地域の方とも一緒に改善に向けて進めていきたいと思えます。

評議員の方から、学校の教育相談について質問をいただきました。現在小学校では、児童に対して、担任や養護教諭を中心に対応していますが、心のふれあい相談員や今年度から配置されたスクールカウンセラーを活用して、教育相談を行い、友達関係や学習の悩み等の支援を行っていききたいと思えます。

ふれあい相談員やスクールカウンセラーの相談は保護者の方も利用することができます。また、本校には「ことばの教室」があります。発達相談も受けていますので、学習面や行動面で心配がある場合は、ご利用ください。